

従業員の皆さんへ

一旦は、落ち着いていた新型コロナの感染が、年末から徐々に増えだし、かつてない感染拡大となっております。オミクロン株は、今までと比べて重症化のリスクが低いと言われてはいますが、感染が拡大する中、医療体制に影響が出て症状が出て自宅待機で様子を見る状態です。引き続き感染予防対策の徹底をお願いします。

2022年最初の「衛生委員会通信」は、2015年度から毎年2月、6月に実施されている「STOP!転倒災害プロジェクト」と「冬場の衛生・感染症対策」についてです。転倒災害は、労働災害(休業4日以上)の死傷災害の4分の1を占めており、最近の高齢者雇用の拡大もあり大きな問題となっております。皆さんも他人事とは考えずに、今回の内容を参考に日頃から注意してくださいね。



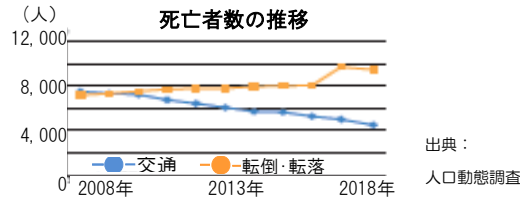
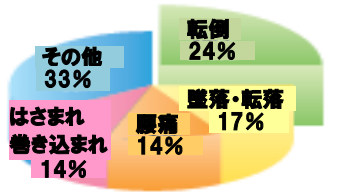
転倒災害は、誰にでも起こり得ます 職場から転倒災害をなくしましょう!
「STOP!転倒災害プロジェクト」とは?

厚生労働省と中央労働災害防止協会(中災防)をはじめとする労働災害防止団体では、休業4日以上)の死傷災害のうち最も件数が多い転倒災害の減少を図るため、2015年から「STOP!転倒災害プロジェクト」を実施しています。しかし、転倒災害は依然としてさまざまな場面で発生し、災害全体の24%(2019年)を占めています。このような状況を踏まえ、プロジェクトの実施要綱が2019年6月に改正され、第三次産業に対する重点的な取り組み、高年齢労働者の就業箇所での安全確保と労働者への注意喚起の徹底など、転倒災害防止対策の一層の強化が盛り込まれました。今こそ、職場一丸となって、「転倒災害」の撲滅を目指しましょう。

労働災害全体の4分の1! ~実は深刻な転倒災害

転倒ただけで労働災害につながるという大げさだと思われるかもしれませんが、実は職場での転倒により休業(4日以上)となってしまう「転倒災害」が多発しており、労働災害(休業4日以上)全体の4分の1を占め、深刻な問題となっております。

また、人口動態調査によれば、職業生活を含めた一般生活の中でも、転倒・転落で亡くなる方は交通事故で亡くなる方より多いのです。転倒災害の防止は今や、あらゆる人々にとっての重要課題といえます。



あなたの職場では、このような災害が起こっていませんか?

業種	災害の発生状況	業種	災害の発生状況
金属製品製造業	<p>工場内で発生した機械トラブル処理のため駆け出したところ、作業通路に散らばっていたネジを踏んで転倒した。</p>	食料品製造業	<p>厨房で揚げ物をパックに詰めるため、容器を取ろうと前方にかがんだところ、床に飛び散った油で滑ってバランスを崩し転倒した。</p>
ケガの程度		ケガの程度	
休業10日間		休業10日間	
対策のポイント		対策のポイント	

足元に落ちた材料などは、速やかに片付けることを徹底する

ほかの労働者が通ることを踏まえ、作業通路に物を放置しない

足元の障害物に気づけるよう、余裕を持った行動を心がける

作業の都度、床の油などは放置せず取り除く

滑りにくい靴底の履物を着用する

ほかにも...

業種	災害の発生状況	業種	災害の発生状況
飲食店	<p>空の容器を抱えた状態で従業員通路の階段を降りていた時に、足元が見えず階段を踏み外してバランスを崩し転倒した。</p>	小売業	<p>バックヤードで商品の検品中に、レジのヘルプ連絡を受けて店内に向かう途中、台車に足を引っかけてバランスを崩し捻挫した。</p>
ケガの程度		ケガの程度	
休業2カ月		休業1カ月半	
対策のポイント		対策のポイント	

運ぶ容器を小分けにするなど足元が見えるようにする

大きな荷物を運ぶときは台車を使用する

危険箇所には表示して注意を促す

階段の昇降はゆっくりを心がける

通路に物を置かない、整理・整頓をする

作業通路を定め、定期的に職場を巡視する

危険箇所には表示して注意を促す

転倒災害の種類と主な原因

転倒災害は、大きく3種類に分けられます。あなたの職場にも、似たような危険はありませんか?

滑り

〔主な原因〕

- 床が滑りやすい素材である。
- 床に水や油が飛散している
- ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている

つまずき

〔主な原因〕

- 床の凹凸や段差
- 床に放置された荷物や商品など

踏み外し

〔主な原因〕

- 大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態での作業

転倒災害防止対策のポイント

転倒災害防止対策により安心して作業が行えるようになり、作業効率が上がります。できるところから少しずつ取り組んでいきましょう。

<p style="text-align: center;">設備管理面の対策 [4S(整理・整頓・清掃・清潔)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆歩行場所に物を放置しない ◆床面の汚れ(水、油、粉等)を取り除く ◆床面の凹凸、段差等の解消 	<p style="text-align: center;">転倒しにくい作業方法 [あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆時間に余裕を持って行動 ◆滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行 ◆足元が見えにくい状態で作業しない 	<p style="text-align: center;">その他の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆作業に適した靴の着用 ◆職場の危険マップの作成による危険情報の共有 ◆転倒危険場所にステッカー等で注意喚起
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

転倒災害防止のためのチェックシート

あなたの職場の危険をチェックしてみましょう！

- ① 通路・階段・出口に物を放置していませんか
- ② 床の水たまりや氷、油、粉類は、その都度取り除いていますか
- ③ 安全に移動できるように、十分な明るさ（照度）が確保されていますか
- ④ 転倒を予防するための教育を行っていますか
- ⑤ 作業靴は作業に適したものを選び、定期的に点検していますか
- ⑥ ヒヤリ・ハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか
- ⑦ 段差のある箇所や滑りやすい場所などに、注意を促すステッカー（標識）をつけていますか
- ⑧ ポケットに手を入れて歩かずに歩かれていますか
- ⑨ 転倒災害防止のための運動を取り入れていますか

- 道路、階段、出口などの歩行する場所には物を放置しないようにしましょう
- 床面が水、氷、油、粉類等で汚れている場合には、すぐに取り除きましょう
- 移動中に物につまずかないよう、適切な明るさ（照度）を確保しましょう
- 転倒を予防するための教育、研修を実施しましょう
- 作業に適した靴を選んで着用し、靴底の擦り減りがないかなど定期的に点検をするようにしましょう
- 職場の危険マップを作成し、危険情報を共有しましょう
- 転倒の危険性がある場所にはステッカー（標識）をつけて、注意喚起をしましょう
- ホックに手を入れて歩かないようにしましょう
階段は手すりを使って昇降しましょう
- ストレッチや体操などを適宜行って、転倒災害予防に努めましょう
日ごろの歩き方も見直してみましょう

転倒予防のために適切な「靴」を選びましょう

サイズ

靴と足はフィットしていますか？

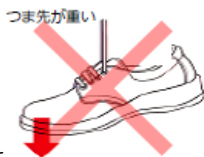
足に合った靴は疲労の軽減、事故の防止につながります。



重量バランス

靴の前後の重さのバランスはとれていますか？

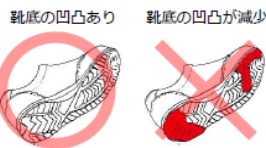
靴の重量がつま先部に偏っていると、歩行時につま先部が上がりにくく、つまずきやすくなります。



靴底の減り具合

靴底がすり減っていませんか？

靴底の減りが大きい靴は、滑りやすくなります。



その他の性能

- 静電気帯電防止性
静電気帯電による放電
着火の防止と低電圧での靴底からの感電防止性能

- かかと部の衝撃エネルギー吸収性
かかとのクッション性に関係し、かかと部の疲労防止性能
- 耐踏抜き性
釘などの鋭利なものから足裏を防護する性能

屈曲性

親指から小指の付け根を適度に曲げられますか？

靴の屈曲性が悪いと、疲労の蓄積、擦り足になりやすくなります。つまずきの原因となります。



つま先部の高さ

つま先から床面まで一定の高さがありますか？

つま先の高さが低いと、ちょっとした段差につまずきやすくなります。



耐滑性の有無

靴の滑りにくさを確認していますか？

耐滑性を有する靴は、以下の箇所を確認できます。

■ 安全靴の場合
個装箱のJISマーク表示の近くに「F1」または「F2」の表示があるか確認してください。

■ プロスニーカーの場合
靴のべろ裏面の表示に、耐滑性のピクト表示があるかを確認してください。



また、冬場の感染症（インフルエンザ、ノロウイルス）については、新型コロナの感染が広がっている中、インフルエンザの感染は収まっている様ですが、食中毒が原因のノロウイルスには、注意願います。

ノロウイルスとは・・・

ウイルスの特徴

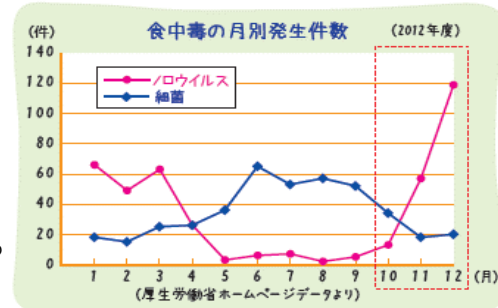
- ・ 10～4月にかけて集中発生
- ・ 日本の食中毒原因微生物のトップ
- ・ 二枚貝の内臓に蓄積しているケースが多い
- ・ 感染力が非常に強く、長期間保持
- ・ 熱に比較的安定
- ・ 人の腸内のみで増殖・発症する

対策

- ・ 二枚貝は中心部まで十分に加熱する（85～90℃で90秒間以上）
 - ・ 野菜などの生鮮食品は十分に洗浄する
 - ・ 手指をよく洗浄・消毒する
 - ・ 調理機械の部品は80℃で5分間以上又はこれと同等の効果の有する方法で殺菌を行う
- 出典：厚生労働省「大量調理施設向けマニュアル」

症状

- ・ 感染から発症まで24～48時間
- ・ 下痢、嘔吐、吐き気、腹痛
- ・ 38℃以下の発熱、頭痛、筋肉痛



手指衛生(手洗い方法)

厨房では

- ① 水で手をぬらし、石鹸をつける。
 - ② 指・腕を洗う。特に、指の間、指先をよく洗う。(30秒程度)
 - ③ 石鹸をよく洗い流す。(20秒程度)
 - ④ 使い捨てペーパータオル等でふく。(タオルなどの共用はしないこと)
 - ⑤ 消毒用のアルコールをかけて手指によくすりこむ。
- 参考：大量調理施設衛生管理マニュアル 標準作業書

病院・介護施設では

目に見える汚れがある時は流水と薬用石けん で洗きましょう
目に見える汚れがない時は擦式手指消毒剤 を使しましょう



ハンドローション・クリームの使用

参考：2002CDC医療現場における手指衛生のためのガイドライン

おう吐物処理時の注意点

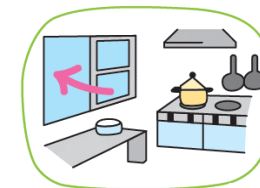
おう吐物処理時の換気

おう吐物の処理時には室内の適正な換気を行い、室内のウイルスを滞留させないようにすることが大切です。

ノロウイルスによる食中毒にかかった人の便やおう吐物を通じて感染することもあります

- ① 大きく窓を開けるなどして室内に新鮮な空気を入れ換気を行う
- ② 換気設備（換気扇）などがある場合には運転してください。

出典：東京都福祉保健局HPデータ



おう吐物の飛び散り

床から1mの高さから吐くと吐いた場所からカーペットでは最大1.8m、フローリングの床では最大2.3m飛び散ります。

飛び散っていることに気がつかずに踏み込むと、足などに付着したおう吐物を周囲に広げる可能性があるため広い範囲を消毒するとともに靴底の消毒にも留意しましょう。

出典：東京都福祉保健局HPデータ

今回の内容が、転倒(労働災害)の減少と冬場の感染予防のヒントになれば、幸いです。